



助け合い献血

株式会社アイムホーム災害防止協議会の活動レター



累計2,000名を達成!

株式会社アイムホームでは、社会貢献活動の一環として、2015年に助け合い献血を始めました。
早いもので7回目を迎え、沢山の方々に協力を頂き無事に開催する事が出来ました。

7回目の今回は、過去最高人数の404名の方に採血して頂く事が出来ましたが、条件等が合わず採血出来なかった方々も、ご参加ありがとうございました。

また、活動を開始してから「累計2,000名」という区切りでもあり、各新聞社からの取材もありました。

皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。

2021年7月6日（火）

北谷町役場前広場にて



県内にあるバス4台すべて集結!!



昨年に引き続きコロナの影響もあり、色々な自治体等でも献血開催のキャンセルが相次いでおり、株式会社アムホームでも開催するべきか検討しました。沖縄県赤十字血液センターの方との話しの中で、県内の医療現場では血液不足に悩まされているという事もありましたので、感染症予防対策を行ったうえで開催する運びとなりました。

忙しい中、打ち合わせや現場から「抜けて来ましたー」と、たくさんの方々に足を運んで頂きました。赤十字血液センターの方々も朝から休むことなく動きっぱなしで対応にあたっていただき、本当に感謝です。



最後までありがとうございました。また来年も宜しくお願い致します。



県内新聞両紙に掲載されました!!

沖縄タイムス

2021年(令和3年) 7月14日 水曜日



【北谷】町桑江の建築会社アイムホーム(渡久川剛社長)が社員や取引先企業などに呼び掛ける献血が6日、町役場玄関前であり、延べ2千人を達成した。

献血社員ら延べ2000人超



北谷のアイムホーム 15年から継続

した。同社は2015年から毎年献血を呼び掛けており、7回目となるこの日は404人が参加し計2157人となった。

献血は午前8時半から午後5時まで。アイムホームの取引先や協力業者の社員らが、互いに距離を取りながら移動献血車4台の前に集まった。2千人目だったのは比謝川ガスの宮平隆之さん(43)北谷町。献血は人生で7回目、うち2回はアイムホームの呼び掛けだとし「献血はきっかけがあれば行きやすい。コロナ禍で血液不足と聞くので、また近くで献血会場があれば参加する」と笑顔で話した。

1999人目は琉球リースの恩納琢也さん(44)那覇市、2001人目は砂川組の金城祐太さん(20)嘉手納町だった。

同社の伊佐忠次専務は「コロナ禍での血液不足に少しでも貢献できたうれしい。皆さんの献血への理解に感謝」とあいさつした。

アイムホームの協力献血で(左端から順に)1999人目の恩納琢也さん、2千人目の宮平隆之さん、2001人目の金城祐太さんら6日、北谷町役場